

# 西東京市 産業ニュース

## NISHITOKYO CITY INDUSTRY NEWS

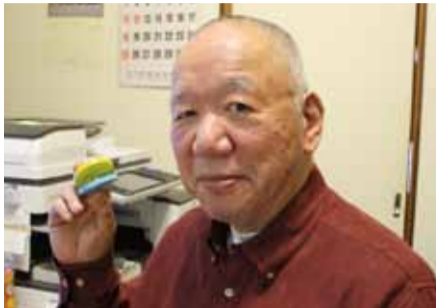
西東京市の注目企業の  
ホットな情報をお届けします。  
市内企業へのマッチング、  
商談などのご相談や  
「西東京市 匠NAVI」への掲載を  
希望される方は、  
産業振興課(042-438-4041)まで  
お問い合わせください。



リハビリ訓練用カスタネットを製品化

### ニーズに合った木工品を自社製作

株式会社鴨下製作所(鴨下健一社長)は、戦前から木工品の製造を行い、店舗用家具などを販売していた。しかし、これらの仕事は大手企業の下請けで利幅が少なく、技術も残らないと考え、鴨下社長は上場会社との取引を徐々に縮小。カスタネットなどの木工教材を中心とした自社製品をホームページで販売し、オリジナル商品開発に力を入れてきた。



自社製品のカスタネットを持つ鴨下社長



「ソウルパーカッション」は簡単に足に装着できる

平成24年には、演奏をとおして高齢者の心身機能の維持向上をサポートする音楽療法の専門家からの依頼を受け、大人の手の中に収まるハマグリ型のカスタネット「デッドペルク」を開発。大手楽器小売店やインターネットで販売し、売上げも好調だ。

平成27年3月には、高齢者のサービスを行う介護施設からの依頼を受け、足で操作するカスタネット「ソウルパーカッション」を開発。実用新案登録が認められ、音楽療法に興味のあるさまざまな施設から問い合わせがあるという。

群馬県内の自社工場では長男・康之さんが工場長として製造に専念。近隣の障害者支援施設の協力を得て、丁寧な手作業を実践している。

「演奏を楽しめるカスタネット作り」に寄与したいです



新製品の「ソウルパーカッション」

### 企業 Data

#### 株式会社鴨下製作所

◆住所: 西東京市東伏見5-9-16

◆電話: 042-452-9226

### 卒業証書から商店のチラシまで 地域のニーズに応える“まちの印刷屋さん”

田無駅北口から徒歩15分ほどの住宅街の中にあるアカギ印刷(加藤顯彦社長)は、昭和40年創業の老舗。社屋にはパソコン2台、ダイレクト製版機、印刷機4台、プリンター3台などが設置され、2代目社長の加藤さんと息子夫婦、事務担当の女性で経営を続けている。

主な取引先は西東京市内の小・中学校のほか、市内外の幼稚園の入園案内や、地元商店・メーカーのパンフレットを制作するなど多岐にわたる。小学校で使う封筒や卒業証書、市役所から送られる乳幼児のための予防接種の問診票まで手掛けている。市民が何気なく触れている印刷物は、同社のものかもしれない。

現在、印刷の実務は息子の雅康さんに任せ、加藤社長は営業と製本を担当。地元顧客や市役所などにために顔を出し、笑顔の挨拶を欠かさない。



印刷を担当する雅康さんは将来の3代目だ

優しい笑顔が印象的な加藤社長

### 企業 Data

#### 有限会社アカギ印刷

◆住所: 西東京市芝久保町3-1-34  
◆電話: 042-461-5716



### ミクロン単位の精度で金属を削る 超精密機器部品加工で実績

金属の中でも難削材の精密加工(掘り込みや穴開けなど)を手掛ける有限会社笠原製作所(笠原行雄社長)は、昭和35年に前社長の笠原博氏が創業。多品種少量生産で高品質の精密加工を実現してきた。

製品は取引先から指定された設計図を基に、丸棒をNC旋盤と呼ばれる自動旋盤機械に取り付けた刃物で削る。さらにマシニングセンターと呼ばれる機械で穴開けや溝掘りを施して仕上げる。

この業界は「穴開けに始まり、穴開けに終わる」と笠原社長。長年の取引先であるNTTの実験装置に直径0.125mmの超精密加工を施したこともある。

精度の高い仕事をするには、最適な加工手順と刃物選び、工作物を支える治具を正確に作成することが重要だという。こうした技術は社内でも共有さ



笠原製作所が手掛ける製品



鏡面仕上げの熟練の技を持つ笠原社長

れ、困難な案件でもスタッフ同士で知恵を出し合い製品化している。

1個から注文を受け、1カ月で50種類以上の部品を加工し、分光分析機、医療機器、航空機などの分野から高い信頼を得ている。

笠原社長は「築いてきた技術はさらに磨きをかけ、次の世代につなげていく」と話している。

### 企業 Data

#### 有限会社笠原製作所

◆住所: 西東京市柳沢3-10-17 ◆電話: 042-465-8281

「西東京市 匠NAVI」Vol.7は、平成28年4月に発行予定です。